

(第3種郵便物認可)

毎日新聞

# 護岸の石積み パッチワークのよう

古い石積みが残る護岸―中区白島九軒町の京橋川で



## 水物語

太田川

◇ 53 ◇

### 土木技術の歴史刻む

広島市街地を流れる川のことには気がかされる。積み  
護岸を注意して見ると、古方もさまざま。長方形の  
石積みが多く残っている。石を斜めに組んだり、横向

きに積み重ねた工法のほ  
か、石組みのすき間の有無  
でも技術が異なる。  
「パッチワーク状でおも  
しういでしょう。積み方  
によって、時代が違っ  
すよ」。水上タクシーを運  
営するNPO法人「雁木  
組」理事長の氏原睦子さ  
んは、護岸の魅力を語る。

氏原さんは東京で河岸  
の公園整備などにかか  
わった。移り住んだ広  
島で、古い石組みの堤  
防や雁木がそのまま使  
われているのに驚い  
た。

積み方が周囲と異な  
っていたり、石がきれ  
いなのは補修した跡。  
古いままの護岸では、  
木の根に崩されている  
場所もある。しかし、  
文献資料は乏しい。古  
老や建築の専門家の話  
を聞きながら、年代を  
推定する。

そこから、土木技術  
の発展や庶民の営みの  
様子が分かってくる。  
市民が普段、何気なく  
見ている護岸には、川  
とともに歩んだ広島  
の歴史が刻まれている。

【宇城昇】